

# 病院管理栄養士の 実情と工夫

H.27.5.16 第2回食事運動生活習慣をよりよくする会  
箕面市ライフプラザ3階大会議室 箕面市立病院 医療技術局栄養部 篠木 敬二



病院での患者

栄養・食事管理は

# 医療技術局栄養部では・・・

## ▶入院患者様へは...

### ◆食事（給食）管理

- ▶治療に合わせた3食の食事を提供しています。

### ◆栄養管理

- ▶病状に応じた栄養指導や栄養状態改善のための栄養支援（NST）

## ▶外来患者様へは...

### ◆在宅での治療食実践のための栄養指導

# □入院患者栄養管理

## ▶慢性疾患治療食患者への食事指導

- 医師指示入院治療食の説明⇒理解し納得して食べていただくため
- 退院後の食事実践についての説明、指導

## ▶術後の食事管理について指導

- 入院術後食、退院時、1か月、3か月、6か月、1年

## ▶栄養状態の維持・改善のためのチーム医療（NST）

- 入院診療を効果的に進めるためには栄養状態の維持、改善が必須

## ▶入院食事提供による治療食

- カロリー制限、塩分制限、タンパク制限、脂質制限、その他色々

# □外来患者栄養管理

▶外来慢性疾患治療食患者への食事指導

▶術後の在宅での食事管理の実践指導

- ▶カロリー制限、塩分制限、タンパク制限、脂質制限、術後の消化器機能に応じた食形態、その他色々
- ▶療養環境、生活習慣を含めた個人の状況に応じた個別の指導

# 生活習慣の乱れは、 どんな事に？

- ▶ 生活習慣と慢性疾患の発症は密接に関係しています。

## ➡ 生活習慣病

- ◆ 糖尿病、脂質異常症、肝機能異常、高尿酸血症（痛風）、心臓病、高血圧症、腎臓病

## ➡ どのような生活習慣

- ◆ 運動不足、食べ過ぎ、飲みすぎ、睡眠不足、ストレス

何で改善しようか？

お薬？・・・

いやいや？

ちよっと待って！！



生活習慣・・・


まずは、これ!!

**運動！食事！**



# 運動療法は多くの慢性疾患の 改善につながります。

- ▶ 食べれる 事で 活動できる
- ▶ 摂取 (in) と 消費 (out)  
⇒ 摂取カロリー (>) (=) (<) 消費カロリー



生活習慣病（糖尿病、脂質異常症、肝臓機能異常、高血圧食 他）では運動療法が病状、検査値の改善に大きく貢献する。  
栄養と運動（リハビリ）は車の両輪

# 病院での医療は専門特化。だから、チーム医療

## 看護師

患者の処置やケア、日常の状態を詳細に把握し医師と二人三脚。

## 薬剤師

患者のお薬の調合やその特徴と効能、飲み方などを説明します。

## 管理栄養士

患者の食事内容の説明、今後の食事管理の実践方法を指導する。

## リハビリ療法士 PT、OT、ST

運動、作業、ゴックンや発語などの専門訓練を行う。

## 検査技師

患者の生化学、血液、細菌、心電図、などのデータを医師に提供し診断の根拠に。

## 放射線技師

患者のレントゲン他様々な専門的画像を医師に提供し診断の根拠に。

## 全ての医療指示は医師が発信

最終の診断や治療の方針は主治医が決定。しかし、各医療者がチームで評価する。

# 栄養指導での工夫は・・・

この説明が、患者さまの役に立つ？ 取り組み、  
実践の参考になるの？  
一つでも二つでも良いことが取り入れられるために!!

- ▶ **患者に必要な支援、説明を行う。** 理論や計算、教科書の内容を一方的に押し付けない。
- ▶ 患者のキャラクターは様々。  
細かな計算方法よりフードモデルの量感で理解してもらう。

**到達度は二の次？**（これは主治医には内緒!!）**まず、取り組んでもらう事!!** そこから始まる。

**始まれば、取り組めば、必ず変わっていく。少しずつでも。**

# 栄養ケアサポートルーム



# 相談室 1 と相談室 2



# 集団指導から個人指導でも使用します



























